

健康経営優良法人 2025(ホワイト500)に認定

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、経済産業省が創設した健康経営優良法人認定制度の大規模法人部門において、2025年3月10日に「健康経営優良法人 2025(ホワイト500)」に認定されましたので、お知らせします。

健康経営優良法人は、2017年度から開始された制度で、経済産業省が日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を認定、公表するものです。当社では、2018年より8年連続で認定を受けており、2025年度は3869社がエントリーした中で、特に優良な上位500社を顕彰する「ホワイト500」に認定されました。



当社は「ポーラ・オルビスグループ健康経営宣言」のもと、個性・感受性豊かな人材で溢れる組織を目指し、今後もこれまで以上に従業員とその家族の健康づくりを推進してまいります。

ポーラ・オルビスグループの健康経営活動について:<https://www.po-holdings.co.jp/csr/social/health/>

健康保険組合とのコラボヘルス^{※1}による、グループ健康経営の主な取り組み

- 1) グループ従業員 70%以上の女性社員に対する健康支援強化**
多くの女性が活躍する当社グループの特性を踏まえ、女性の健康支援を強化。健康管理センターに婦人科医師を配置し、女性特有の症状に対する相談対応、リテラシー向上を目的としたセミナーを定期的開催のほか、プレゼンティーズム^{※2}の解消・抑制、ライフキャリアの充実を目的に、月経・更年期症状改善をサポートするフェムテックサービスを導入。2024年からは、男性更年期症状まで対象を拡大。
参考リリース:『ルナルナ オフィス』の「更年期プログラム」をポーラ・オルビスグループ健康保険組合が導入(2023年9月1日)
https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news8300234408226155565/main/0/link/20230901_lunaluna%20office.pdf
ポーラ・オルビスホールディングス『ルナルナ オフィス』の「男性更年期プログラム」を実証導入(2024年1月17日)
https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news-715893722722552759/main/0/link/20240117_lunaluna%20office_men_s.pdf
- 2) 充実した健康診断、医療職によるグループ横断の事後措置推進**
全国医療機関で定期健診と同時にがん検診が受診可能な体制を構築。結果をグループ産業保健組織である健康管理センターにて一元管理し、産業医・保健師による有所見者に対する受診勧奨・保健指導をグループ横断的に実施(一部事業所を除く)。
- 3) 生活習慣病予備軍の行動変容の促進**
健康保険組合・各事業所が密に連携をとって特定保健指導を推進し、2023年度実施率81.2%(従業員対象)を達成。また、個人向けの健康管理支援ツールを起点とした参加型イベントの開催やリテラシー向上コンテンツ配信を積極的に行い、組織全体の健康的な生活習慣づくりを推進。

※1 企業と健康保険組合が積極的に連携し、明確な役割分担と良好な職場環境のもと、被保険者の予防を含めた健康づくりを効率的・効果的に実行すること

※2 世界保健機関(WHO)が提唱した概念で、何らかの病気や症状を抱えながら働き、集中力や意欲といったパフォーマンスや生産性が低下している状態

～ Staff's voice ～

◆ポーラ・オルビスホールディングス HR 室 星野 祐樹

社員一人ひとりが自分らしさや個性を発揮して活躍するうえで健康管理は何よりも大切なことと捉え健康経営を推進しています。今後もより前向きに健康管理に取り組める環境作りを進め、一人ひとりのQOL・生産性向上に貢献していきたいと考えています。



◆ポーラ・オルビスグループ健康保険組合 永井 雄介

当健康保険組合では、「加入者の健康増進、医療費の適正化、保健事業の円滑な実施」を重要テーマとして母体企業とコラボヘルスで推進していく方針を掲げ、取り組んでいます。加入者のより一層の健康づくりを推進してまいります。

